

令和5年度 第1回 生涯学習センター—運営審議会

令和5年8月21日（月）午前9時30分～11時
宇都宮市役所14A会議室

生涯学習センター運営審議会出席者名簿

生涯学習センター運営審議会委員（任期：令和5年6月1日～令和7年5月31日）

1	菊地 美子	神刀無念凱山流 凱照会 代表（中央生涯学習センター）
2	齋藤 哲男	三の沢北自治会 自治会長（西生涯学習センター）
3	上野 秀雄	陽光地区まちづくり推進協議会 会長（南生涯学習センター）
4	寺山 睦夫	宝木地区まちづくり協議会 会長（北生涯学習センター）
5	阿久津 秀夫	清原地区自治公民館連絡協議会 会長（清原生涯学習センター）
6	岡田 好枝	宇都宮婦人防火クラブ 会長（横川生涯学習センター）
7	渡邊 秀雄	瑞穂野地区まちづくり協議会 役員（瑞穂野生涯学習センター）
8	菊地 重栄	城山地区コミュニティ協議会 会長（城山生涯学習センター）
9	小曾戸 典子	富屋小学校地域協議会地域学校協働活動推進員 （富屋生涯学習センター）
10	首藤 慎二	豊郷地区連合自治会 会長（豊郷生涯学習センター）
11	阿久津 節子	篠井小学校魅力ある学校づくり地域協議会 地域学校協働活動推進員（篠井生涯学習センター）
12	稲葉 豊	雀宮地区まちづくり推進協議会 会長（雀宮生涯学習センター）
13	斉藤 智子	上河内中学校地域協議会 地域学校協働活動推進員 （上河内生涯学習センター）
14	谷内 直子	白沢宮っ子ステーション放課後子ども教室 事業コーディネーター（河内生涯学習センター）
15	半田 文男	宇都宮市立今泉小学校長（小学校長会）
16	高橋 重年	宇都宮市立国本中学校長（中学校長会）
17	若園 雄志郎	宇都宮大学准教授
18	坪井 真	作新学院大学女子短期大学部教授
19	遠藤 芳孝	公募
20	上野 恵美子	公募

出席生涯学習センター所長

1	中央生涯学習センター所長	渡辺 隆
2	西生涯学習センター所長	山宮 幸人
3	北生涯学習センター所長	伊藤 泰拓
4	清原生涯学習センター所長	金子 正明
5	瑞穂野生涯学習センター所長	大根田 隆之
6	国本生涯学習センター所長	枝 俊充
7	豊郷生涯学習センター所長	田代 京子
8	姿川生涯学習センター所長	近藤 康
9	上河内生涯学習センター所長	上吉原 正弘

事務局

1	生涯学習課長	鈴木 康子
2	生涯学習課長補佐	高桑 昭祥
3	生涯学習グループ 係長	黒須 紀子
4	主任主事	吉澤 直輝
5	主任司書	小松 早枝子
6	主事	島田 綾香
7	管理グループ 係長	落合 幹子
8	放課後児童グループ 係長	白井 隆浩
9	家庭教育・地域人材グループ 係長	藤田 直樹

目次

1 開会

2 生涯学習センター運営審議会について

3 正副委員長選出について

4 議事

【協議事項】

- (1) 令和4年度生涯学習センター事業運営の評価について
- (2) 令和5年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について
- (3) 令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について

5 閉会

2 生涯学習センター運営審議会について

役割

社会教育法第29条に基づき、生涯学習センター事業の企画実施等について調査審議する機関。生涯学習センターの運営等に対するさまざまな助言・提言を貴重な市民の声、または新たな知見として生涯学習センターの事業運営に役立てる。

(社会教育法第29条及び宇都宮市生涯学習センター条例 第11条)

委員構成

20名 (社会教育関係者 14名 学校教育関係者 2名
学識経験者 2名 公募 2名)

(宇都宮市生涯学習センター条例第11条)

任期

2年 (令和5年6月1日～令和7年5月31日)

(宇都宮市生涯学習センター条例第11条及び宇都宮市生涯学習センター施行規則第8条)

会議回数

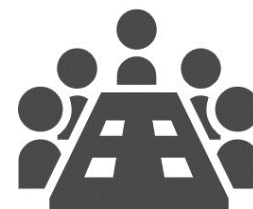
2回 (8月・2月)

3 正副委員長選出について

【生涯学習センター条例施行規則 第8条】

第1項 宇都宮市生涯学習センター運営審議会（以下「審議会」という。）に、委員長及び副委員長を置き、委員がこれを互選する。

第3項 委員長は、審議会の所掌事務を総理し、会議の議長となる。



4 議事

【協議事項】(1) 令和4年度生涯学習センター事業運営の評価について

「令和4年度生涯学習センター事業運営の考え方」 (【参考1】)

生涯学習センターにおいては、「第3次宇都宮市地域教育推進計画」の理念の実現に向けて、下記項目を重点的として取り組んでいく。各重点項目については、指標を基に評価していく。

重点項目 (1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

重点項目 (2)

家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進

重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

4 議事

【協議事項】 (1) 令和4年度生涯学習センター事業運営の評価について (重点項目(1)の評価)

重点項目
(1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

【指標①】 生涯学習センターの利用者数 (講座参加者数及び貸館利用者数)
基準値 (平成28年度) : 740,862 人 目標値 (令和4年度) : 772,528 人

指標 1	H 2 8 年度 (基準値)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
単年度目標値	-	761,825 人	767,158 人	772,528 人
実績値	740,862 人	308,467 人	413,212 人	462,230 人
講座参加者数	20,167 人	4,634 人	7,195 人	9,144 人
施設利用者数	720,695 人	303,833 人	406,017 人	453,086 人
単年度の達成度	-	40.5 %	53.9 %	59.8 %

新型コロナウイルス感染症の影響により、講座参加者の定員や施設利用を制限したため、生涯学習センターの利用者数は基準値と比較して減少したが、オンラインを活用した講座など実施方法の工夫や、文化祭の開催などにより、利用者の実績値を増加させることができた。

4 議事

【協議事項】 (1) 令和4年度生涯学習センター事業運営の評価について (重点項目(1)の評価)

【指標②】 生涯学習センターにおける講座の開催数

基準値 (平成28年度) : 141 講座 目標値 (令和4年度) : 150 講座

指標 2	H 2 8 年度 (基準値)	R 2 年度		R 3 年度		R 4 年度	
	講座数 (実施回数)	講座数 (実施回数)	(満足度)	講座数 (実施回数)	(満足度)	講座数 (実施回数)	(満足度)
単年度目標値	-	147 講座	-	148 講座	-	150 講座	-
実績値	141 講座 (600 回)	67 講座 (196 回)	(97.7 %)	109 講座 (407 回)	(97.2 %)	138 講座 (440 回)	(98.1 %)
成人対象	69 講座 (292 回)	35 講座 (115 回)	(97.5 %)	56 講座 (205 回)	(97.3 %)	80 講座 (239 回)	(97.4 %)
青少年対象	31 講座 (85 回)	13 講座 (22 回)	(98.3 %)	23 講座 (68 回)	(94.7 %)	28 講座 (70 回)	(99.6 %)
子育て世代対象	41 講座 (196 回)	19 講座 (59 回)	(98.1 %)	30 講座 (131 回)	(99.2 %)	30 講座 (131 回)	(99.2 %)
単年度達成度	-	45.6 %	-	73.6 %	-	92.0 %	-

新型コロナウイルス感染症の影響により、講座参加の定員の制限はあったものの、講座にオンラインを活用することや、複数回に分けて、少人数での講座の開催を実施したことにより、講座回数を増やすことができた。

4 議事

【協議事項】(1) 令和4年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(1)の評価）

重点項目 (1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進



- 新型コロナウイルス感染症により、講座参加者の定員や施設利用が制限される中、参集型とオンライン型（ZoomやYouTube等での講座の配信など）を組み合わせたハイブリッド型の講座の開催など、新たな手法を導入し、実施方法等の工夫をしながら取り組んだ。定員の制限により、限られた人数しか参加できないことから、参集型講座と同じ環境で受講できるよう、オンライン型講座の環境を整えつつ、講座内容の充実や開催数の確保を図った結果、講座数の達成度や満足度が平均9割を超え、概ね目標を達成することができたと考える。
- オンライン型の学習の導入により、講座内容を充実させることで、様々な学習機会を提供し、市民が学ぶ楽しさを感じ、身に付けたい知識を自由に得ることができるようなど、学習意欲の高揚を図ることができた。今後は、各生涯学習センターにタブレットやモバイルルーター等のデジタル環境を整備し、講座等の実施手法の充実を図り、学習機会を拡充する。

4 議事

【協議事項】(1) 令和4年度生涯学習センター事業運営の評価について (重点項目(2)の評価)

重点項目
(2)

家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進

【指標①】子育て世代を対象とした参加交流型講座の参加者数

基準値 (平成28年度) : 7,660人 目標値 (令和4年度) : 7,900人

指標1	H28年度 (基準値)	R2年度		R3年度		R4年度	
	参加者数 (講座数)	参加者数 (講座数)	(満足度)	参加者数 (講座数)	(満足度)	参加者数 (講座数)	(満足度)
単年度目標値	-	7,820人	-	7,860人	-	7,900人	-
実績値	7,660人 (41講座)	735人 (16講座)	(99.3%)	2,212人 (30講座)	(99.3%)	2,438人 (30講座)	(99.2%)
	※うち子ども 3,796人	※うち子ども 345人		※うち子ども 1,063人		※うち子ども 1,205人	
単年度達成度	-	9.4%	-	28.1%	-	30.9%	-
参考	交流 仲間 づくり	7,609人 (39講座)	749人 (15講座)	(99.5%)	1,831人 (24講座)	1,695人 (21講座)	(99.4%)
		※うち子ども 3,503人	※うち子ども 385人		※うち子ども 886人	※うち子ども 851人	

新型コロナウイルス感染症の影響により、講座参加者の定員や回数を制限しながら実施したことから、参加者数は基準値と比較して減少している。限られた実施の中で、子育ての不安や悩みを軽減する実践的なワークショップなど、内容の充実を図ったことで、満足度が9割を大きく超えている。

4 議事

【協議事項】(1) 令和4年度生涯学習センター事業運営の評価について (重点項目(2)の評価)

【指標②】 学校、地域、NPO、企業等と連携した講座の参加者数 (子育て世代・青少年対象)
 基準値 (平成28年度) : 3,410人 目標値 (令和4年度) : 3,500人

指標 2	H 2 8 年度 (基準値)	R 2 年度		R 3 年度		R 4 年度	
	参加者数 (講座数)	参加者数 (講座数)	(満足度)	参加者数 (講座数)	(満足度)	参加者数 (講座数)	(満足度)
単年度目標値	-	3,470 人	-	3,485 人	-	3,500 人	-
実績値	3,410 人 (25 講座)	788 人 (17 講座)	(98.4 %)	1,293 人 (19 講座)	(98.3 %)	2,214 人 (29 講座)	(99.5 %)
青少年対象	675 人 (13 講座)	448 人 (10 講座)	(97.9 %)	701 人 (12 講座)	(96.6 %)	1,269 人 (16 講座)	(99.6 %)
子育て世代対策	2,735 人 (12 講座)	340 人 (7 講座)	(98.9 %)	592 人 (7 講座)	(100 %)	945 人 (13 講座)	(99.4 %)
単年度達成度	-	22.7 %	-	37.1 %	-	63.2 %	-

➤➤ 新型コロナウイルス感染症の影響により、講座参加の定員を制限しながら、講座回数を増やして実施した。積極的に大学や企業等と連携し、科学実験やものづくりなどの体験学習や他校生との交流など、講座内容が充実したことから、満足度が9割を超えた。

4 議事

【協議事項】(1) 令和4年度生涯学習センター事業運営の評価について (重点項目(2)の評価)

重点項目 (2)

家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進



- 子育て世代を対象とした参加交流型講座の参加者数については、講座内容を工夫し、講座参加者の定員を制限しながらも親子で一緒に参加する講座等を開催している。また、親子での交流の機会や、参加者同士の情報交換の場を積極的に設けるだけでなく、子育ての不安や悩みを軽減する実践的なワークショップを取り入れることで、家庭の教育力向上や子育て支援機能の充実に取り組んだ。
- 学校・地域・企業等と連携した講座の参加者数については、実績値が単年度目標値には達していないものの、地域団体や様々な知識・技術等をもつ企業や大学等と積極的に連携し、科学実験やものづくりなどの体験学習など、講座内容の充実及び実施回数の増加を図った結果、参加者の満足度が9割を大きく超え、質の高い学習機会を創出した。

4 議事

【協議事項】(1) 令和4年度生涯学習センター事業運営の評価について (重点項目(3)の評価)

重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

(再掲) 【指標①】 生涯学習センターの利用者数 (講座参加者数及び貸館利用者数)
基準値 (平成28年度) : 740,862 人 目標値 (令和4年度) : 772,528 人

指標 1	H28年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度
単年度目標値	-	761,825 人	767,158 人	772,528 人
実績値	740,862 人	308,467 人	413,212 人	462,230 人
講座参加者数	20,167 人	4,634 人	7,195 人	9,144 人
施設利用者数	720,695 人	303,833 人	406,017 人	453,086 人
単年度の達成度	-	40.5 %	53.9 %	59.8 %

新型コロナウイルス感染症の影響により、講座参加者の定員や施設利用を制限したため、生涯学習センターの利用者数は基準値と比較して減少したが、オンラインを活用した講座など実施方法の工夫や、文化祭の開催などにより、利用者の実績値を増加させることができた。

4 議事

【協議事項】(1) 令和4年度生涯学習センター事業運営の評価について (重点項目(3)の評価)

【指標②】生涯学習センターにおける学習相談件数 (来館・電話)

基準値 (平成28年度) : 390 件 目標値 (令和4年度) : 390 件

指標 2		H 2 8 年度 (基準値)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
単年度目標値		-	390 件	390 件	390 件
実績値		390 件	216 件	261 件	320 件
単年度の達成度		-	55.4 %	66.9 %	82.0 %
参 考	マナビスにおける情報登録件数 (講座・団体・講師情報など)	5,075 件	4,633 件	4,721 件	4,971 件
	マナビスのアクセス件数	11,493 件	13,020 件	9,284 件	13,520 件

※生涯学習情報提供システム (マナビス)

生涯学習関連情報である、講座情報、イベント情報、施設情報、団体情報、講師情報などを、インターネットにより提供している生涯学習情報提供システム

市民からの新たに学習を始めたいという問い合わせに対して、マナビスを活用し、スポーツ・音楽・芸術など様々なサークル活動団体を紹介するといった、相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決支援のほか、生涯学習センター内の展示パネルを利用した登録団体の紹介、マナビスの定期的な登録情報の更新など、情報提供の充実に取り組んだ結果、学習相談件数が増加し、学習者を様々な活動へ結びつけることができた。

4 議事

【協議事項】(1) 令和4年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(3)の評価）

重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実



- 新型コロナウイルス感染症により、講座参加者の定員や施設利用が制限される中、参集型とオンライン型（ZoomやYouTube等での講座の配信など）を組み合わせたハイブリッド型の講座の開催など、新たな手法を導入し、実施方法等の工夫をしながら取り組んだ。定員の制限により、限られた人数しか参加できないことから、参集型講座と同じ環境で受講できるよう、オンライン型講座の環境を整えつつ、講座内容の充実や開催数の確保を図った結果、講座の実施回数や満足度が平均9割を超え、概ね目標を達成することができた。また、地域理解を促す講座では、受講決定者数が917人（令和3年度は848人）と増加しており、地域に貢献できる人材の育成や、地域課題の解決、地域づくりの促進につながった。
- 生涯学習センターにおける学習相談件数は、市民からの新たに学習を始めたいという問い合わせに対して、マナビスを活用し、様々なサークル活動団体を紹介するといった相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決支援のほか、生涯学習センター内の展示パネルを利用した登録団体の紹介など、情報提供の充実に取り組んだ結果、学習相談件数が増加し、学習者や活動したい人を様々な活動へ結びつけることができたと考える。

4 議事

【協議事項】(2) 令和5年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について

「令和5年度生涯学習センター事業運営の考え方」 (【参考2】)

生涯学習センターにおいては、「第3次宇都宮市地域教育推進計画」の理念の実現に向けて、下記項目を重点的として取り組んでいく。各重点項目については、指標を基に評価していく。



重点項目 (1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

重点項目 (2)

地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進

重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

重点項目 (4)

持続的に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域教育の基盤の強化

4 議事

【協議事項】(2) 令和5年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について



第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画（【参考3】）



【理念】

『学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により、一人ひとりが活躍できる社会を実現する』

4 議事

【協議事項】(2) 令和5年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について

第3次宇都宮市地域教育推進計画後期の特徴（【参考3】）

基本目標Ⅰ

一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習に取り組んでいます。

基本目標Ⅱ

地域・学校・家庭が相互に連携・協力した教育活動を通して、地域全体で学び合い育ち合っています。

基本目標Ⅲ

多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

基本目標Ⅳ

学習や学んだ成果を生かした活動に持続的に取り組める環境が整っています。



デジタルも活用して誰もが分け隔てなく参加できる、学べる環境づくり



学びの礎となる読書を推進し、市民の豊かな人間性を培うとともに課題解決力を向上（課題解決のサポートも含む）



大学や企業の協力なしではできない高度（または専門的）な学習および様々な活動へとつなげる人材育成

4 議事

【協議事項】(2) 令和5年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について

【資料1】参照



出席生涯学習センター所長より説明

【出席生涯学習センター】

（中央・西・北・清原・瑞穂野・国本・豊郷・姿川・上河内）



4 議事

【協議事項】(3) 令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

令和5年2月に策定した「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に基づき、生涯学習センターの事業運営に取り組む。計画策定2年目となる令和6年度については、令和5年度の考え方を基本としながら、令和5年度上半期の実績等を踏まえた見直しや新規事業に取り組み、内容の充実を図る。



【継続】

- ・ハイブリッド型の講座の実施
- ・企業等との連携
- ・学校や家庭ではできない体験学習等の実施
- ・地域や外国人、親子等、参加者間の交流の場の提供
- ・孤立しがちな子育て世代のコミュニティ形成
- ・地域課題の共有、地域への興味・関心や郷土愛の醸成

【新規】

- ・リピーターでなく、新規の参加
- ・働き世代やプレシニア世代の参加
- ・SNSの活用など、若い世代へ向けた地域の魅力発信
- ・講座実施後のフォローアップ(スマホ講座におけるデジタルサービスの利活用など)
- ・SNS等、デジタル技術を活用した講座の周知および参加者募集

【見直し】

- ・内容を固定せず、参加者の状況やレベルに見合った講座の実施
- ・土日開催や託児の充実など、開催日時等の工夫
- ・男女ともに参加しやすい環境の整備
- ・サークル団体の活動に結びつく参加型体験型の講座の実施

4 議事

【協議事項】(3) 令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

重点項目 (1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

一人ひとりの主体的な学習活動を支援し、個人の成長や自己実現を促す講座等を開催する。

(例)

- ・「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座の開催
- ・パソコンやスマホ教室、防災に対応した講座、コロナ禍における開催方法を工夫した講座など、「社会的課題に対応した講座」の開催
- ・ZoomやYouTube等のデジタル技術を活用したハイブリッド型の講座等の開催や学習の推進
- ・参加者の状況やレベルに見合った講座の実施や、講座実施後のフォローアップ
- ・SNS等、デジタル技術を活用した講座の参加者募集

参考【後期計画の基本指標】

主体的に学習に取り組んでいる市民の割合

令和3年度：23.9% ⇒ (令和9年度：50.0%)



4 議事

【協議事項】(3) 令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

重点項目 (2)

地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進

家庭の教育力向上を促す講座の開催や、家庭・学校・地域が連携する、つながるきっかけづくりなど、地域全体で子どもを育む教育活動の支援に取り組む。

(例)

- ・子育て世代の保護者の気付きや悩み解決、父親の育児参加、親子の交流や仲間づくり、ネットワークづくりを促す参加交流型講座や体験学習型講座の開催
- ・土日や平日夜の講座の開催など共働き世代等でも参加しやすい環境づくり
- ・魅力ある学校づくり地域協議会等の教育活動を支援する団体への支援や、学校・地域・企業等と連携して子どもの成長を支える教育活動を推進する子育て世代や青少年を対象とした講座の開催

参考【後期計画の基本指標】

地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した活動者数及び児童・生徒数

令和3年度：81,171人 ⇒ (令和9年度：170,000人)

〈内訳〉活動者数：(令和3年度) 20,555人 ⇒ (令和9年度) 30,000人

児童・生徒数：(令和3年度) 60,616人 ⇒ (令和9年度) 140,000人



4 議事

【協議事項】(3) 令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

地域や社会を支える人材の育成に向けて、地域理解を促す講座や学んだ人が様々な活動主体とつながる学習機会を提供する。

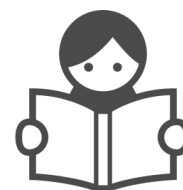
(例)

- ・ 「地域学講座」など地域課題を共有し、地域に対する理解や愛着を育む講座の開催
- ・ SNSやデジタル技術の活用による若い世代へ向けた地域の魅力発信
- ・ NPO・大学・企業等と連携し、専門的な知識や技術を獲得することができる学習機会や情報の提供
- ・ サークル団体の活動に結びつく参加型体験型の講座の実施

参考【後期計画の基本指標】

地域に貢献する活動に参加している市民の割合

令和3年度：29.5% ⇒ (令和9年度：35.0%)



4 議事

【協議事項】(3) 令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

重点項目 (4)

持続的に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域教育の基盤の強化

市民が学習や活動をしやすい環境整備とともに、学習相談、情報提供等の機能の充実を図るなど、地域拠点としての基盤の強化に取り組む。

- (例)
- ・生涯学習団体や教育活動を行う団体等への施設貸出など、場の提供による活動の支援
 - ・生涯学習情報提供システム(マナビス)の積極的な情報発信など、学習者や活動したい人を様々な活動へ結びつける学習相談支援サービスの充実
 - ・幅広い年代の地域住民等が「交流・活動する場」として、施設の環境整備や役割の周知

参考【後期計画の基本指標】

学習や活動をおこなう環境に満足している市民の割合

令和3年度： - % ⇒ (令和9年度： 50.0 %)

(現時点での実績値が無いため、今後、市民意識調査で確認し、目標値を決定)



4 議事

【協議事項】(3) 令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

生涯学習センターの役割

多様な学習機会の提供を通じた意識醸成の推進

(アイスブレイクで各分野の意識醸成を取り入れる、各分野の啓発チラシを配布するなど)

学びを通して、人々がつながり、学び合うことができる機会の提供

NPO・大学・企業等と積極的に連携し、個人の成長を促す講座の実施

実施方法の工夫による幅広い世代の参加の促進

(開催日時の検討、託児の充実、[SNS](#)やデジタル技術の活用等)

学んだ人が意欲的・主体的に地域とつながる事業の実施

(地域団体との協働・共催した講座や文化祭・地域のイベントの開催)

地域住民や多様な団体が交流・活動しながらつながる場として施設の活用を促す事業の推進

5 閉会

【連絡事項】

- ① 広報紙「栃公連」Vol.65の配布について
(机上配布)
- ② 次回の会議日程について
(令和6年2月頃 開催予定)

長時間にわたるご審議、
ありがとうございました。

